

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 1 日

事業名称		都市計画審議会費[都市計画審議会事業]										
予算科目	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 1	都市計画総務費	事業番号	2				
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	都市計画課 計画調整係					課長名	神山 尚					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	4 - 1				
【施策名】市街地の整備							総合計画書(ページ)	83				
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 都市計画決定すべき事項や、市長からの諮問事項				→				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 都市計画審議会での諮問件数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 公正かつ専門的な第三者の立場で、調査・審議を行い、意見や答申の内容が市のまちづくりに適切に反映される				→				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 答申において承認された件数/諮問件数			
	③ そのために何をしましたか。 審議会を開催し、市長からの諮問に対し、答申を行った				→				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 審議会の開催回数			
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	件	12	1	2						
	成果指標	②の数値	%	100	100	100						
	目 標	②の目標値	%	100	100	100		100	100			
目標値設定の考え方 審議会承認されるよう適切な諮問を行う必要があるため。												
	活動指標	③の数値	回	4	1	3						
3 経費	事業費(実績)		円	361,566	96,012	279,870		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	361,566	96,012	279,870						
		特定財源	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間	120.0	30.0	90.0						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	504,000	126,000	387,000						
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	865,566	222,012	666,870							
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和43年度									
	(2) 環境の変化		都市計画法等の規定により、市長からの諮問等に応じ、都市計画に関する事項を調査審議するため、昭和43年に審議会を設置した。まちづくりについて、都市計画の策定段階から市民意見の反映を求められるようになってきている。									

